

## 令和六年 辰年



### 目次 Contents

JA役員、各組織 新年の挨拶	2
代表理事組合長 新年の挨拶	3
中央会会長 新年の挨拶	4
酪農対策協議会長 新年の挨拶	5
青年部・女性部長 新年の挨拶	6
乳牛改良同志会会長 新年の挨拶	7
同志会通信	8
関連会社より新年のご挨拶	9
別海高校専攻科お知らせ	10
別海高校活動報告	11
営農対策情報	12
乳質乳価	13
十二支・辰年の豆知識	14







## 新年のごあいさつ

中春別農業協同組合 代表理事組合長 望月英彦

新年明けましておめでとうござ  
います。

組合員の皆様には、健やかに新  
年を迎えられたことと心よりお慶  
び申し上げます。

昨年は、春から生産抑制下での  
スタートであり、円安物価高等の  
中、厳しい経営環境でありました。

一番草収穫においては、良好な  
天候に恵まれ良質な粗飼料を収穫  
できましたが、二番草収穫におい  
ては、天候不順で大変な思いをいた  
しました。全国的に猛暑の中、か

つて経験のない温度湿度に悩まされ、乳牛の体調管理にご苦労されたことと思います。その中で、アルコール不安定乳発生には、確たる対策等がなく文献等も集めて見ましたが、古い文献しかありませんでした。当地域での発生は多く、原因究明に向けて関係機関にもお願いしながら努力しておりますが、原因を絞り込むことは不可能ではないかと言われております。当丁

Aといたしましたは、春に向け猛暑対策の一環として、送風機等の整備への対応を急いでおり、地域の工事関係者にも協力を願っているところでもあります。

また、北海道独自対策として酪農生産基盤確保対策事業で経産牛1頭当たり6,800円の支援措置、別海町も独自対策として水道料金の一部減免を措置していただき、厳しい酪農情勢下での対策に感謝申し上げます。

さて、生産抑制下の中、全道的猛暑もあり、道酪対では上半期の乳量実績から全道の乳量の落ち込みを見て、1%のアローワンスをもって、地区内調整に舵を切りました。計画生産の期中ですが、乳製品の安定供給を柱として、令和6年度目標数を令和5年度目標数399万トンから403万トンと前年比101%で設定をさせていただいております。今後の生乳生産に対してご理解をお願いいたし

ます。

さて、令和6年度畜産物政策価格等でありませんが、補給金交付対象数量は330万トンから325万トン、補給金・集送乳調整金は11円34銭から関連対策の7銭を合わせて11円67銭となり、総額379億円となりました。

脱粉在庫対策はALICから切り替え、補正予算で40億円対策がなされました。今後の対策が脱粉在庫の減少に大きく貢献してくれると思われま

す。社会全般では、働き手の不足が叫ばれており、当丁Aでも同じ現象が起きております。職員の皆様にも大変な思いをさせておりますが、組合員の皆様には今までもおりのサービスができない状態が続いております。現在、職場環境の整備に向けた対策に力を入れておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

コロナ禍もあり、遅れておりま

した新事務所建設に向けた検討委員会を10月開催させていただきました。今後、建設に向けて論議を加速させていきたいと思っております。

また、男女共同参画基本計画によりJA女性役員登用を2025年までに取り組むようにと国から出されております。次期役員改選期に向けて論議を進めていきたいと思っております。

世界の人口増加、コロナ禍、ロシア・ウクライナの問題等、不透明な情勢ではありますが、人が生きるためには食料が必要であり、我々の職業は生命産業であります。根釧大地の力を最大限活かして、動物性たんぱく質の安定供給を目標として前向きに生乳生産に向かつていくことをお願いし、新年のご挨拶といたします。



# 令和6年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長

樽井 功

新年あけましておめでとうござ  
います。

組合員の皆様におかれましては、  
日々営農に更に邁進されておられ  
ることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一  
丸となり地域農業の振興や地域  
社会の発展に向け、日頃より多大  
なご尽力をされていることに対し  
まして、改めて敬意と感謝を申し  
上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、  
春先は天候に恵まれ地域によって  
降雹被害や竜巻の被害が見られた  
ものの、概ね、平年並みに推移し  
ておりました。しかしながら夏場  
は猛暑による記録的な高温多湿の  
影響を大きく受け、各作物の生育  
自体は、全般的に平年よりも早く  
進んできましたが、各作物等の収  
量および品質の低下が顕著となる  
残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症の位  
置付けは昨年5月より5類に移行  
し、コロナ禍以前の日常を取り戻

しつつありますが、各農畜産物の  
消費は依然として低迷しており、  
さらに、国際紛争や急激な円安の  
進行による飼料・肥料をはじめと  
した生産資材の高止まりが、農業  
経営に与える影響は甚大なもの  
なっております。

さらにこれらの影響を受け、世  
界の食料需給事情が一変しました。  
輸出制限を行い、自国の食料を確  
保する各国の動きが活発化し、世  
界的な人口増加による食料不足問  
題など食料争奪合戦がすでに始  
まっております。我が国の食料を安  
定的にどう確保するのか。今こそ  
大いに食料安全保障の国民的議論  
が必要となっております。

現在、日本の食料自給率は38%  
しかありません。

これは、世界の先進国の中で最  
低の水準であり、6割以上の食べ  
物を輸入に頼っているのが日本の  
現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫  
緊の課題であることから、我が国

の食料供給基地である北海道農業  
が果たしてきた役割、そして北海  
道農業への期待は、今後ますます  
大きくなるものと考えております。

JAGグループ北海道は、日本の  
食料基地であるという使命感に立  
ち、食料の安定生産・安定供給と  
農畜産物の需要拡大を両輪として  
引き続き取り組むことが重要であ  
り、国民の命の源である食を守り  
続けるにも、まさに新しい農業を  
築き、未来の世代へ繋いでいく必  
要があり、行政や全国連とも連携  
し、しっかりとその対応を図って  
参ります。

今年、第31回JAG北海道大会  
が開催されます。

また、第30回JAG北海道大会の  
実践最終年度であり、決議され  
た将来ビジョンである、「北海道  
550万人と共に創る『力強い農  
業』と『豊かな魅力ある地域社会』  
の達成」の成果をしっかりと検証  
し、次のJAG北海道大会に繋げて  
いく必要があります。

このような状況であるからこそ、  
協同組合運動の原点に立ち返り、  
相互扶助の精神に基づき互いに協  
力し、力を合わせこの難局を乗り  
越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今ま  
で以上に農業・食に対する理解を  
求めるため、JAGグループ北海道  
統一の情報発信のフレーズであ  
る「アグリアクション北海道」を  
浸透させ、より効果的な情報発信  
を行い、JAGグループが提唱する  
「国消国産」の認知を広めて参り  
ましょう。

結びになりますが、本年は辰年  
です。辰年は陽の気が動いて万物  
が振動するので、活力旺盛になっ  
て大きく成長し、形がととのう年  
だといわれています。

この謂われにあやかり、本年が  
豊穡の年となること、皆様のご健  
勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶  
といたします。



## 歩みを止めないで

中春別酪農対策協議会 会長 山崎 浩二

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、日頃より当会の活動に對しまして多大なるご理解ご協力をいただき心より感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、一番に思い出されるのは記録的な猛暑かと思えます。本州と同等の気温が本来冷涼な当地域で2ヶ月以上続き、暑さに弱い乳牛に對し深刻なダメージを与えました。産乳量の減少や異常分娩はもとより、アルコール不安定乳の発生など回復への道のりが長期にわたる場合も散見されました。

を維持しております。また、海外の情勢を見ますとロシアとウクライナの紛争は長期化の様相をみせており、新たに中東でも戦鬪行為が始まり、国際社会の不安定感から為替の急変や石油相場の高騰など世界の経済活動に大きな影を落としています。

このような状況は酪農経営にも大きく影響しています。肥料、飼料をはじめ生産資材の高騰及び高値安定は生産費の大幅な上昇を招き、昨年から下落してしまつた乳用牛価格も回復の兆しは見えず、唯一高値で取引されていた和牛牛も夏以降大幅に下落しました。そのような中で生乳の取引価格は加工原料乳価格が4月から10円上がり、飲用乳価格も8月から10円上がり、値上げ以前から見るとプール乳価で約12円値上がりしました。交渉して頂いた系統団体、また理解してくれた乳業メーカーには感謝しております。しかし、

酪農経営を継続していく単価からは激しく乖離していると言わざるを得ません。

このような状況下で当会といましては北海道農政部との意見交換を1回、国及び農水省への中央要請を2回実施いたしました。道農政部には暑熱対策および北海道酪農の在り方などについて、また中央要請では酪農現場の現状や改正畜安法の影響による酪農家間に生じている不公平感の是正などを要請してまいりました。

令和6年度の北海道指定団体における生産目標数量は1%増加の403万tとなり、バター需要にこたえる形で増産に舵を切り、加工原料乳生産者補給金単価は23銭上げの8円92銭、集送乳調整金単価は3銭上げの2円68銭となり、関連対策の7銭を合わせて11円67銭で決定し、限度数量は5万t減の325万t、予算総額は379億円で決定されました。限

度数量についてはA L I C事業で新たに13.3億円が措置され、補給金単価と同程度で5万t、バターにおける脂肪分に対しての13万tを合わせて18万tとなったことから、関連対策を合わせると343万tとなり、昨年度より3万t増えることとなりました。生産現場の思いからはかけ離れてはおりますが、トータルパッケージという形で様々な対策が措置されていますのである程度は経営の助けになることと思われまふ。また、用途別乳価も一部価格改定があり1月精算分からプール乳価で約2円値上がりすることが決まっております。

最後になりましたが厳しい時こそ真価が問われているように思います。自らを信じ歩みを止めなければ必ず良い一年になると信じています。





## コロナ渦を乗り越えて

中春別農協青年部 部長 楠本 竜矢

新年あけましておめでとうございます。

当青年部活動に対しまして組合員皆様をはじめ、農協や関係機関の皆様におかれましては、日頃よりご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、雪解けも早く畑作業も早期に行うことができ、6月下旬から7月にかけて天候にも恵まれ良質な牧草の収穫をすることが出来ました。また、4月からの乳価の引き上げもあり明るい話題からスタートした

2023年でしたが、7月から9月の長期にわたる猛暑、それに伴う乳量の減少、アルコール不安定乳の多発と例年にはない苦しい夏となりました。

青年部としては、コロナウイルスが落ち着きをみせてきたことから3年振りに従来の活動を開始することが出来ました。交流部会では久々に農協若手職員との交流会を開催しました。ここ数年間は本格的な交流が図れなかったため、会食やゲームを通じてお互いの距離を近づける事ができたかと思

ます。

研修部会では乳価の仕組みや農水省との意見交換会へ向けた勉強会、視察研修会を開催して部員の知識向上を図り、営農での収益向上に繋がったと思います。

消費拡大部会では例年行っているお中元、お歳暮ギフトの梱包作業に加えて、今年からの新たな取り組みとして、チクレンのハンバーグ、よつ葉のチーズを使用したノースキッチンさんとのコラボカレーを考案し、農協店舗収穫祭で販売を行いました。販売数とし

ては100皿を達成し、「美味しかった」といった嬉しい言葉かけて頂きました。

今年の青年部活動としましては、昨今の牛乳、乳製品の消費低下を食い止めるためにもノースキッチンさんとのコラボカレーを中心に消費拡大運動に力を入れていきたいと考えています。

また、今月は青年部創立50周年記念式典を控えておりますので、これまでに青年部を支えてくれた歴代の部員の皆さんや組合員の皆さん、農協職員の皆さんに恩返し出来る様な式典にしたいと考えています。

今年も青年部一同、力を合わせて各活動に取り組んで参りますので皆様方におかれましては今後ともご指導の程お願い申し上げます。新年を挨拶と代えさせていただきます。



## 女性パワーを発揮していきます。

中春別農協女性部 部長 南澤 順子

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。日頃より女性部活動に對しましてご理解、ご協力くださいまして心よりお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、雪解けは早く6月の好天に恵まれ

一番草の収穫は順調に進みました。

しかし8月の猛暑、9月の長雨により二番草の収穫が遅れました。また、乳量、乳質にも影響が出ました。5月にはコロナが5類に引き下げられ、マスクの着用も任意になりました。しかしコロナやインフルエンザ等の感染症は治まることはなく、日々の生活で気の休

まることはありません。

私たち女性部は昨年11月に一泊で札幌に宿泊研修へ行つて来ました。くるるの杜でランチ、エスコンフィールド北海道、クボタアグリフロントの農業学習施設を見学しました。楽しい時間はあっという間でした。その他にも共進会・Aコープ秋の収穫祭でのミルク豚

汁無料配布や青年部と合同で行っているお中元・お歳暮ギフトセットの取りまとめ等の行事も行うことができました。

女性部や地区女性協議会の活動はコロナ前に戻ってきています。多人数の研修会や懇親会は楽しいものです。是非、皆さんにも経験して頂きたいと思ひます。

最後になりますが、農協を始め各関係機関の皆様にはご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。



# 情勢に左右されない安定した酪農経営を目指して

中春別乳牛改良同志会 会長 寺澤佳吾

2024年、新年を迎えるにあたり日頃より格段のご理解、ご協力、ご指導を賜りました皆様へ謹んでお慶び申し上げます。

また、当同志会事業推進におきましては、農協はじめ、各関係機関の皆様にも多大なるご協力をいただき、役員、会員一同、心より感謝申し上げます。

昨年度も我々酪農家を取り巻く情勢は、景気の低迷により国産和牛の需要が高まらず肉用牛の価格下落、それに伴い子牛の値下がりも依然厳しい状況であります。

更には配合飼料などの生産資材の高止まりと酪農経営収支は悪化の一途をたどっております。そうした中、我々同志会は、日々変化

していく情勢でも安定した酪農経営を図るためホルスタインの改良技術、飼養管理技術などのさらなる研鑽と探求を目的に精力的に活動して参りました。

こうした情勢下、令和5年度の事業と致しましては、次世代を担う青年部と共催で「講習会」を行ういゲノミック検査の活用方法について学びました。また乳牛改良等の更なる知識、技術の研鑽を目的とし「酪農視察研修」を実施致しました。

更に組合員や地域の皆様にシヨウや乳牛改良に触れ興味を持って頂けるよう組合日より紙面上で年2回の「ホルスタイン写真コンテスト」、特別企画「絵画コンテスト」

を開催し、好評を頂きました。その他にも、酪農全国誌に広告を掲載し、「中春別ホルスタイン」をアピールすることが出来ました。

各シヨウにおいては根室ブラック&ホワイトシヨウ、北海道ブルック&ホワイトシヨウ、根室ホルスタイン共進会、第18回北海道総合畜産共進会、2023北海道ウィンターフェアへ出品致しました。第18回北海道総合畜産共進会では8頭出品し、内4頭が入賞という成績を残しました。

日頃の乳牛改良の成果と致しましても、7頭が新規エクセレントを獲得し、累計エクセレント頭数は254頭を数えます。これも日々の乳牛改良に対する情熱と努

力が実を結んだ結果となりました。次年度以降も会員・参加者の安全と健康を第一に考えた中で一つでも多くの事業が展開できるよう検討して参ります。

本年も乳牛改良と酪農経営を融合し、中春別の地に根差した「牛」を追い求めるべく、活動して参りますので組合員、農協、各関係機関のみなさまには変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。





# 第47回 ホルスタイン 写真コンテスト

4歳クラス

## 結果発表

中春別乳牛改良同志会（寺澤佳吾会長）主催で行いました第47回写真コンテスト予想投票は、多数の応募がありました。

序列付けをオールジャパンブリーダーズサービス株式会社森龍一氏が行い、**正解は、B→A→F→E→C→D**となりました。

残念ながら全問正解者はいませんでした。目黒雅明さん、小菅加奈子さん、大下俊治さん、今野真大さん、阿部修三さん、藤原香さん、高橋美智子さん、十河航也、矢部美幸さんに賞品を贈呈いたしますのでJ A中春別畜産課までおこし下さい。

### 《 講 評 》

4歳クラス6頭でありましたが、序列はB→A→F→E→C→Dとさせていただきます。

トップに致しましたB号牛ですが、このクラスの中で最も乳器と体型のバランス、鋭角性と強さにおいて優れていると判断し、1位とさせていただきます。同時にベストアダージェットとさせていただきます。

1位B号牛と2位A号牛の比較でございますが、B号牛の方が、胸の幅、深さ、後ろ乳房の幅、高さ、前乳房の付着、乳房底面の高さにおいて優れておりました。

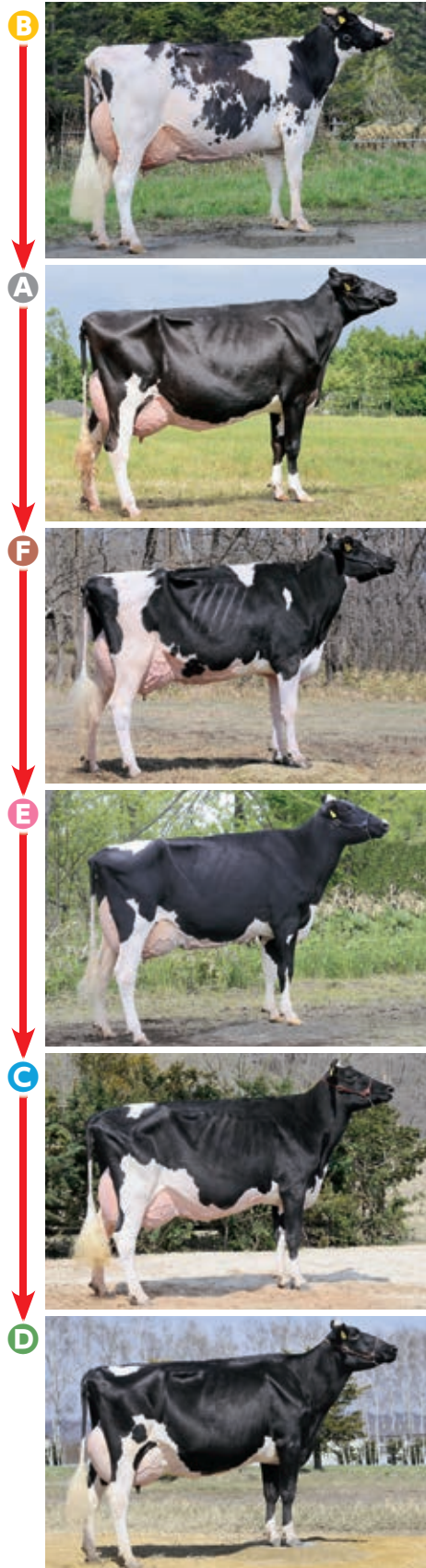
また、飛節の鮮明さという点におきましてもB号牛の方が優れていると判断しました。

2位A号牛と3位F号牛の比較でございますが、A号牛の方がより乳用性に優れ、顔から首の質感、肋の開帳、尻の長さ、前乳房の付着において優れておりました。また、下けん部の充実におきましてもA号牛の方が優れていると判断しました。

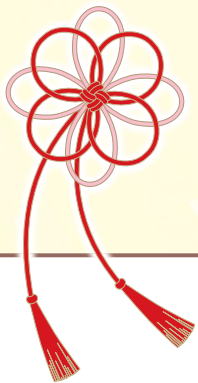
3位F号牛と4位E号牛の比較でございますが、F号牛の方がより体全体の鮮明さ、乳房の質感、尻の構造において優れておりました。

4位E号牛と5位C号牛の比較でございますが、E号牛の方が首の長さ薄さ、乳房底面の高さ、後ろ乳房の付着の高さにおいて優れておりました。

5位C号牛と6位D号牛の比較ですが、似たタイプの2頭ありますが、C号牛の方が肋の方向、開帳、尻の長さ、後ろ乳房の高さにおいて優れておりました。







# 謹賀新年

関連会社より新年のご挨拶

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます  
令和6年 元旦



代表取締役 望月英彦

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

旧年中は何かとお世話になりました  
本年もどうぞよろしくお願ひいたします  
令和6年 元旦



代表取締役 望月英彦

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2861・FAX(0153)76-2865

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます  
令和6年 元旦



訪問介護ステーション「あさひな」

別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階 TEL・FAX(0153)76-3383

旧年中は何かとお世話になりました  
本年もどうぞよろしくお願ひいたします  
令和6年 元旦



(株) なかしゅんべつ 未来牧場

代表取締役 望月英彦

共和育成センター 別海町中春別115-7 TEL(0153)76-2040・FAX(0153)76-2016  
全酪連育成センター 別海町中春別131-42 FAX(0153)76-1878  
酪農研修センター 別海町中春別170-1 TEL(0153)76-1230・FAX(0153)76-1232

2024年度  
**学生募集**

視察などを通してたくさんの人と出会い、  
自分スタイルの酪農を探してみませんか？

## 北海道別海高等学校 農業特別専攻科募集案内



### 農業特別専攻科の特色

- 酪農従事を目指す方が、就労・実習を行いながら酪農の理論を学べます。
- 酪農ヘルパーなど正規従業員として法人や農場で働きながら通学可能です。
- 酪農実習生用の間借・社宅・住居借り上げなど、ご相談に応じます。



### 学生生活

～ 通常授業日 ～

- 1 講目 10:35～11:35
- 2 講目 11:40～12:40
- 昼食 12:40～13:25
- 清掃 13:25～13:35
- 3 講目 13:35～14:35
- 放課 14:35～

基本登校日：月・水・金

- 牧草の収穫時期には、農場(自宅・実習先)で実践を、春・秋・冬に学校へ通学して理論を学びます。

### ニュージーランド海外研修

2年時に実施。  
費用の選考補助あり(上限60万円)。



### 入試日程等(1次)【募集人員20人 就業年限2年間】

- 受験資格高等学校卒業以上

#### 願書受付

令和6年1月9日(火)から  
令和6年1月19日(金)正午まで

#### 検査日

令和6年1月30日(火)

#### 合格発表

令和6年2月7日(水)

#### 検査内容

作文および面接

#### 願書配布

令和5年11月30日(木)から

### 年間必要経費

#### 入学金や授業料など

44,730円

#### 後援会・学友会費など

55,200円 合計99,930円

※令和6年度入学生初年度変更可能性有

※一部補助金(移住等により)を受けることができます。

※農業次世代人材投資資金制度対象校です。(要審査)



### 酪農関連団体との連携・多様な視察研修の充実

- 外部講師による各専門分野の集中授業  
(各農業協同組合、農業改良普及センター、酪農試験場、NOSAI北海道、家畜保健衛生所、消防署等)
- 酪農家視察研修会  
普及センターや農協など各事業所の協力の下、多様な酪農家への視察研修会を充実させています。



### 入学希望者説明会

説明会は、ご要望があれば随時受付をしています。

まずは、お気軽にお問い合わせ下さい!!

### 資料請求等・お問い合わせ先

#### 別海高校農業特別専攻科 まで

〒086-0214 北海道野付郡別海町別海緑町70-1  
TEL.0153-75-2053 FAX.0153-75-2263  
URL <http://bekkai.hokkaido-c.ed.jp>  
E-mail [bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp](mailto:bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp)







### ●【酪農経営科】 東北北海道連盟リーダー研修に参加しました。

11月17日(金)に標茶高校で行われた令和5年度東北北海道学校農業クラブ連盟リーダー研修会に、本校の農業クラブ執行部4名が参加しました。

研修に参加した、農業クラブ会長2年生 中町周輔さん(厚岸真龍中出身)は「今回のリーダー研修会では、他の農業高校生と農業クラブの活動や各々の学校のアピールポイントなどについて意見交換することができました。同じ農業クラブ執行部として、活動する仲間と交流することで、我々別海高校農業クラブのモチベーションアップにもつながったのでとても有意義な研修会になりました。」と研修を振り返ってくれました。



施設見学の様子

### ●【酪農経営科】シクラメン販売会を行いました。

11月17日(金)に本校農場にて、シクラメン販売を行いました。今年度のシクラメン販売会は、1日開催とし新たに乳製品の販売も行いました。販売会当日は販売時間が短い中、多くの方々にお越しいただき、大盛況となりました。



シクラメン販売の様子

販売会に参加した3年生 眞下 夢結さん(別海中央中出身)は「短時間で沢山のお客さんが来て、忙しかったけど、接客方法やコミュニケーション能力を高めたり、スムーズな導線を考えたりできた。今回の実習で学年の壁を取っ払って前よりもみんな話しやすい関係になってきたと思います。」と販売会を振り返ってくれました。

### ●【酪農経営科】日本農業新聞、出前授業開講！

12月7日(木)に日本農業新聞の出前授業が行われました。日本農業新聞北海道支所の福原様にお越しいただき、新聞の読み方、データの読み解き方、地域の課題解決を考えるグループワークについて、ご講義いただきました。



出前授業の様子

出前授業に参加した1年生 平賀 空さん(中央中出身)は「今まで、新聞は読み方が分からず、なんとなく読んでいた。今回の講義で、読み方とその記事の重要な部分がどこなのかを知ることができた、データも大事だということが分かったので、今後の勉強に活かしていきたいです。」と感想を述べてくれました。

### ●【専攻科】令和5年度 根室管内新規就農者交流会

10月31日(火)、令和5年度 根室管内新規就農者交流会にて、「楽しむ酪農」をテーマに岡田牧場の岡田 好正様と岡田 優子様(ご夫妻)の講演をもとに、その後グループ討議に参加しました。



グループ討議の様子

講演では、就農後の苦労話や事業の成長の喜び、家庭の時間を確保する大事さについてユーモラスに話されていました。グループ討議では、新規就農に当たっての金銭面、設備面など不安に思われることについて意見交換が行われました。

参加した学生は「普段の学校生活では接する機会のない、新規就農を考えている方の考えを知ることができるとても有意義な時間だったと思います。」という感想がありました。

### ●【専攻科】令和5年度 別海町新規就農者交流会

11月8日(水)令和5年度 別海町新規就農者交流会に参加しました。酪農家と研修生及び専攻科学生による懇談会を前半はグループ、後半は会食を交えながら行われました。



交流会の様子

前半は、研修生から質問のあった就農後の家庭と仕事との両立などについて話し合われました。後半は会食しながら、様々な方と学習活動や目標とする酪農経営について活発な意見交換が行われていました。

参加した学生は「自分とは別の視点からの意見を聞くことができ、とても勉強になりました。」と感想がありました。

### ●【専攻科】草地生産学

11月20日(月)合同会社若葉牧場代表 穴吹 威様に、草地の土壌管理について講義をしていただきました。

自家の草地土壌管理は、土壌分析の結果をもとに施肥による微量要素の補完をすることで、土壌の健康維持に努めているとのことでした。



講師の穴吹様

このことについて、牧草の根の張りや雑草繁殖との関係について土壌断面の写真を用いてわかりやすく熱心に説明されていました。

学生からは「マメ科の牧草の土壌をどのように維持するのかを学ぶことができてよかったです。また、自家の草地土壌でも良い草を作れるように今日の学びを生かしたいと思いました。」との感想がありました。



繁殖は酪農経営の要です。昨夏は暑さの影響から、その日に消耗した体力を十分に回復させることができず、繁殖サイクルが大きく崩れた個体もいることと思います。

安定した生産サイクルを整えるための基本管理方法について再チェックしてみましょう！

### 1 令和5年のチモシー生育と収穫作業について

繁殖成績を高めるためには、発情発見率が重要です。根室管内の発情発見率と分娩間隔の関係を見ると、発情発見率が低い牧場ほど分娩間隔が長期化しているのがわかります(図1)。

そこで、次項では発情発見からその後の対処のポイントについて紹介します。

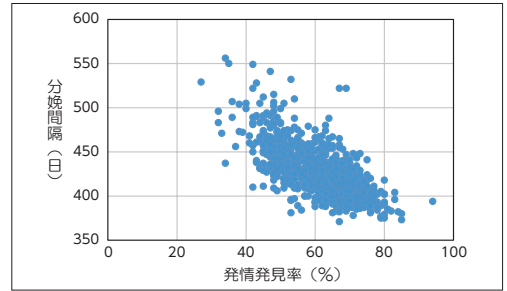


図1 発情発見率と分娩間隔(2016乳検成績)

#### 発情発見率

- 理論上の発情回数に対して授精した回数の割合のこと
- 発情発見率＝  

$$\text{平均授精回数} \div \{((\text{空胎日数} - \text{初回授精日数}) \div 21) + 1\} \times 100$$
 により求めることができ、目標値の目安は70%以上です！

### 2 繁殖管理方法～発情発見から受胎するまで～

#### 1. 発情発見

##### (1) 発情観察

発情発見率は観察回数が多く、観察時間が長いほど高まります。また、発情徴候

時間	発情徴候を示す牛
AM6:00～正午	22%
正午～PM6:00	10%
PM6:00～真夜中	25%
夜中～AM6:00	43%

(Dairy Science Update,2000)

は夜中から早朝にかけて示す傾向があります(表1)。牛舎作業中の観察の他、夜や朝作業前の見回りなど、農場の作業性を考慮しながら、発情観察の「回数・時間・タイミング」を検討しましょう。

##### (2) 授精適期

授精のタイミングはスタンディング発情が終わる頃から

発情発見	種付けタイミング
午前9時以前	その日の午後
午前9時～12時まで	その日の夕方～翌朝
午後1時以降	翌日の午前中

排卵されるまでの間が最適とされ、発情開始から約半日後になります。そのためAM・PM法(表2)を活用することで、牛が適期で授精を迎えることができます。

#### 2. 伝達

人工授精に立ち会い、人工授精師に牛の状態を伝えることで繁殖障害などの個体に対して早期の対応が可能になります。

- どんな発情徴候か **農家**
- 何回目の授精か など…



- 授精するかの判断 **授精師**
- ホルモン治療のアドバイス

#### 3. 授精後の対応

妊娠関連糖タンパク(PAGs)検査により、人工授精後28日目以降の牛の妊娠の有無がわかります。授精後早期に不受胎牛を見つけることで、牛群の空胎日数の短縮に繋がります。



## 退職のご挨拶



橋本 圭司

この度、12月30日もちまして退職いたしました。

退職にあたり、皆様には一言お礼のご挨拶を申し上げます。

平成27年4月に入組させていただき、生産部畜産課畜産指導係として8年間の間、組合員の皆様に携わらせていただきました。今日のこの日まで皆様のご指導ご鞭撻、温情をいただきながら、仕事させていただきましたことに厚くお礼申し上げます。社会人となり、8年間、農協職員、そして家畜人工授精師として学ばせていただいたものは何物にも代えがたい経験になりました。本当にありがとうございます。

今後につきましても、学ばせていただいた、知識、経験を活かせるよう努めてまいります。



終わりになりますが、組合員の皆様、役員の方々の皆様の益々のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。退職のご挨拶とさせていただきます。大変お世話になりました。

### 11月乳質乳価一覧表

		単価 (円)	算出基礎 (kg)	支払乳価 (円)	前年同期 (円)	差 (円)
乳脂肪分		1098.689		45.65	40.45	5.20
無脂乳固形分		697.085		61.93	54.57	7.36
生産者補給金		6.7676		6.77	6.47	0.30
集送乳調整金		2.0638		2.06	2.03	0.03
補給金合計		8.8314		8.83	8.50	0.33
乳質単価	生菌数				3.73	3.80
	ランク1	2	300,866,660.2			
	ランク2	0	7,554,995.7			
	ランク3	-3	283,854.3			
	体細胞数					
	ランク1	2	271,157,812.9			
	ランク2	1	18,678,743.3			
	ランク3	-2	5,375,926.1			
合計				120.14	107.32	12.82

### 11月生乳受託実績表

項目	単価(円)/(kg) %
乳脂肪分①	45円65銭
無脂乳固形分②	61円93銭
生産者補給金③	6円77銭
集送乳調整金④	2円06銭
脂肪率	全道 4.16%
	農協 4.26%
無脂固形分率	全道 8.88%
	農協 8.87%
成分乳価 (①+②+③+④=⑤)	全道 116円41銭
	農協 117円51銭
乳質乳価⑥	全道 3円73銭
	農協 3円70銭
乳代合計 ⑤+⑥	全道 120円14銭
	農協 121円21銭
	差異 1円07銭



十二支

# 辰年

の豆知識



辰年は、一般的に大きなことは起こる年と言われていす。「辰」は陽の気が動いて万物が振動する、動きが盛んになるということの象徴でもある。また、たつ（竜、龍）は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年といわれています。

そして2024年は「甲辰（きのえたつ）」です。「甲」は十千の最初の文字であり、物事の始まりを意味しています。「甲乙丙・・・」と順序や成績などを表すときにも一番最初の文字です。この「甲」と「辰」が合わさる2024年甲辰の年は、勢いよく活気あふれる年、上昇の勢いがあり成長していく年と言われていす。努力してきたことが大きな成果となって得られるような、勢いや成長の感じられる年にしたいですね。

近年では、昭和2年、昭和15年、昭和39年、昭和51年、昭和63年、平成12年、平成24年が辰年生まれの人となります。この年の有名人を調べてみると、芥川龍之介やジョン・レノン、デヴィ夫人、阿部寛、クロちゃん、戸田恵梨香、佐々木希、新垣結衣、吉高由里子、浜辺美波といった有名人がいます。



組合員の皆さま並びにご家族の皆さま新年明けましておめでとうございます。

ご家族御そろいで輝かしい新年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

昨年は組合だより「なかしゅんべつ」をご愛読いただきましてありがとうございました。

私事ではありますが、縁あって4月から6年ぶりの広報誌担当となり早8ヶ月・・・時間の速さにとても驚いております。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの5類移行に伴い行事活動などが平常に戻りつつあり、コロナ禍に比べて多くの取材や記事の掲載ができました。現地に出向いて皆さんと顔を合わせる楽しさや重要性を改めて感じる事が出来た、そんな一年でした。ご協力ありがとうございました。文章や写真撮影など、より一層成長していきたいと思っているので、今後も皆さまに楽しんでいただけるよう努力致します。

これから本格的に冷え込む季節となりますので、体調管理と車の運転には十分お気をつけてお過ごしください。

本年も皆様にとって、素敵な一年となりますようお祈り申し上げます。